

# 富山大学 学報

## 第263号

### 目 次

関係法令..... 1	人事異動.....12
学内規則..... 2	学内諸報.....13
富山大学職員の財産形成貯蓄関係事務取扱要項 の一部改正..... 2	海外渡航者.....13
富山大学教育学部規則の一部改正..... 3	昭和60年度全国公務員レクリエーション共同行 事富山地区ソフトボール大会.....13
富山大学電気工作物保安規則の一部改正..... 7	工学部の移転について.....13
富山大学附属図書館分館長選考基準を廃止する 基準..... 9	寄稿くボルダーから見たアメリカ大陸の歴史.....15
諸 会 議.....10	職 員 消 息.....17
	主 要 行 事.....19

## 関係法令

(官報掲  
載月日)

(官報掲  
載月日)

### 省 令

- 大学設置基準の一部を改正する省令（文部26） 9・4
- 短期大学設置基準の一部を改正する省令（文部27） 9・4
- 郵便規則の一部を改正する省令（郵政73） 9・28
- 文部省設置法施行規則の一部を改正する省令（文部28） 9・30
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令（文部29） 9・30
- 国際電子電子郵便の取扱いに関する省令の一部を改正する省令（郵政74） 9・30

- 外国郵便為替規則及び外国郵便振替規則の一部を改正する省令（郵政75） 9・30

### 規 則

- 人事院規則16-0（職員の災害補償）の一部を改正する規則（人事16-0-1） 9・30
- 人事院規則16-3（災害を受けた職員の福祉施設）の一部を改正する規則（人事院16-3-3） 9・30
- 人事院規則16-4（補償及び福祉施設の実施）の一部を改正する規則（人事院16-4-1） 9・30

(官報掲  
載月日)

(官報掲  
載月日)

告 示

- 無線従事者国家試験の一部を免除する学校等として認定した件の一部を変更する件(郵政692) 9・5
- 郵便法等の規定に基づき郵便番号を定める件の表の一部を改正する件(郵政699) 9・10
- 昭和61年度科学研究費補助金の計画調書の提出期間を定める件(文部121) 9・19
- 大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定の一部を改正する件(文部122) 9・19
- 電気事業法の規定に基づく主任技術者の

- 資格等に関する省令の規定に基づき学校を認定した件(通産376) 9・19
- 外国あて通常郵便物の送達等に関し外国郵政庁で定める条件に関する件の一部を改正する件(郵政721) 9・19
- 外国あて小包郵便物の送達等に関し外国郵政庁で定める条件に関する件の一部を改正する件(郵政722) 9・19
- 郵便法等の規定に基づき郵便番号を定める件の表の一部を改正する件(郵政725) 9・20

学 内 規 則

富山大学職員の財産形成貯蓄関係事務取扱要項の一部改正

富山大学職員の財産形成貯蓄関係事務取扱要項の一部を改正する要項を次のとおり制定する。

昭和60年9月17日

富山大学長 大井 信 一

富山大学職員の財産形成貯蓄関係事務取扱要項の一部を改正する要項

富山大学職員の財産形成貯蓄関係事務取扱要項(昭和47年11月20日制定)の一部を次のように改正する。

- 第2項第2号中「一を」を「1を」に改める。
- 第2項第3号の表を次のように改める。

申出期間	預入等の開始日
10月1日～ 10月11日	11月俸給支給日又は12月期末勤勉 手当支給日

第2項第4号中「預貯金等の種類は」を「預貯金等の種類は、」に改める。

第3項を次のように改める。

3 財形貯蓄契約

財形法第6条の規定に基づく財産形成貯蓄契約(以下「財形貯蓄契約」という。)を希望する職員は、国家公務員用財産形成貯蓄申込書等の統一様式について(昭和59年12月28日総人第275号総務庁通知)に規定する書類(以下「統一様式」という。)を所属

する部局の担当係(以下「担当係」という。)を経由して、庶務部人事課職員係(以下「職員係」という。)に提出するものとする。

第4項第2号ア中「財形貯蓄契約申込書並びに租税特別措置法(昭和32年法律第26号)第4条の2に規定する」を「統一様式のうち財形貯蓄契約申込書並びに」に改め、同号ウ中「とりつぎ」を「取り次ぎ」に改め、同号エ中「すみやか」を「速やか」に改め、同号オ中「とりまとめ」を「取りまとめ」に改め、同号カ中「その他、」を「その他」に改める。

第5項第3号中「幹事金融機関等は」を「幹事金融機関等は、」に改める。

第6項中「別紙様式2」を「別紙様式1」に改める。

第7項を次のように改める。

7 非課税関係事務

職員係は、職員が財形法第8条の規定に基づく課税の特例を受けようとする場合は、財形法第6条の

規定に基づく財産形成年金貯蓄契約に係る特別財産形成非課税貯蓄申告書の額と合わせ、500万円以内であることを確認しなければならない。

第8項第1号中「氏名、勤務先」を「氏名及び勤務先」に、「ときは、」を「場合は、」に、「当該金融機関等が定めたところの書類に必要事項を記入のうえ、すみやかに」を「統一様式に定める書類に必要事項を記入の上、速やかに担当係を経由して」に改める。

第8項第2号中「預入等の日、預貯金等の種類」を「預入等の日及び預貯金等の種類」に、「当該契約金融機関等が定めたところの」を「統一様式に定める」に、「記入のうえ、毎年12月1日から12月10日までに」を「記入の上、毎年10月1日から10月11日までに担当係を経由して」に、「引続き」を「引き続き」に改める。

第8項第3号中「変更、払出及び」を「変更及び払出並びに」に改める。

第8項第4号中「すみやかに」を「速やかに」に改める。

第9項中「締結している職員に」の次に「担当係を経由して」を加える。

第10項中「すみやか」を「速やか」に改める。

第11項を削り、第12項中「必要な事項は」を「必要な事項は、」に改め、同項を第11項とする。

別紙様式1を削り、別紙様式2を別紙様式1とする。

**附 則**（昭和60年9月17日）

この要項は、昭和60年9月17日から実施する。

**▶富山大学職員の財産形成貯蓄関係事務取扱要項の改正理由**

- 1 財形貯蓄の加入者が固定してきたことに伴い、財形貯蓄契約の申込み及び契約内容の変更に係る申出期間を年1回とし、その時期を財形年金貯蓄に係る申出期間に統一し、事務の合理化を図るため所要事項を改める。
- 2 その他、字句を整理する。

**富山大学教育学部規則の一部改正**

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和60年9月20日

富山大学長 大井 信 一

**富山大学教育学部規則の一部を改正する規則**

富山大学教育学部規則（昭和27年4月18日制定）の一部を次のように改正する。

第1条第3項中「精神薄弱児」を「精神遅滞児」に改める。

別表Ⅲの技術専攻を次のように改める。

別表Ⅲ

技 術 専 攻								
学 科 目	授 業 科 目		開 設 単 位	中 学 校 教 員 養 成 課 程			養 護 学 校 教 員 養 成 課 程	
				必	選 必	選	第 二 類	
							必	選 必
木 材 加 工	製 図	図 学	2	2			2	
		機 械 製 図	2	2			2	
	木 材 加 工	木 材 加 工 法	4			4		
		木 工 実 習	2	2			2	
		造 形 設 計 ・ 同 演 習	2			2		
	金 属 加 工	金 属 加 工 法	2	2			2	
金 工 実 習		2	2			2		

機 械	機 械	機械工学概論	4	4			4		
		工業力学	2		2	4			
		材料力学	4		4			2	
		機 構 学	2		2				
		熱 機 関	2		2				
		精密測定・精密機械	2		2				
		機械設計法	4		4				
		機械工作法	2		2			2	
		機 械 材 料	2		2				
		機械工学演習	2		2				
機械工学実験・実習	2	2					1		
電 気	電 気	電気工学概論	4	4			4		
		電気磁気学	4		4	4			
		電気回路	2		2				
		電子工学	4		4			2	
		電力機械	4		4				
		電気計測	2		2				
		電力応用	2		2			2	
		電子機器	2		2				
		電気工学演習	2		2				
		電気工学実習	2	2					1
電気工学実験	2		2						
農 業	農 業	作物学	4		4	2		2	
		栽培学	4	4				2	
		育種学	2		2				
		園芸学	4	2	2			2	
		飼育学	4					4	
		昆虫学	2		2				
		土壤肥料学	4		2			2	
		農産製造学	4		2			2	
		食品化学	2					2	
		農業地理学	2					2	
		農業経営学	4					4	
		作物学実験	1					1	
		栽培学実験・実習	2	2					2
		農業機械実習	1					1	
		農芸化学実験	1					1	
産業概説	産 業 概 説	2				2			
職業指導	職業指導原理	4	2			2		2	
	職業指導の技術	4				4			
	技 術 史	2				2			
	水産学概論	2				2			
	商 業 概 論	2				2			

	統計学	2			2		
	微分積分学	4			4		
	微分方程式論	2			2		
	一般物理学Ⅰ, Ⅱ	4			4		
	計測法	2			2		
	化学総論Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ	6			6		
	生物学総論Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ	6			6		
	技術科特別講義	6			6		
	特設科目						
計		163	32	10	8	24	2
				50			26

備考 教科教育法は、別表Ⅱ(ロ)に示す。

別表Ⅲの教育心理学専攻の授業科目の欄中

精神衛生	を	精神衛生学	に改める。
精神薄児の心理		精神遅滞児心理学	

◎ 退庁、退室の際には、戸締りの徹底・電気、ガスの消し忘れ、タバコの吸殻の後始末に十分注意し、盗難の防止・火災の予防に心がけましょう!!

◎ 電気、ガス、水の省エネ・省資源に協力しましょう!!

別表Ⅳを次のように改める。

別表Ⅳ

特 殊 教 育 専 攻

学科目	授 業 科 目	開設単位	第一類・第二類		
			必	選必	
障害児教育	障害児教育	障害児教育概論	2	2	} 2
		障害児教育演習	1	1	
		障害児教育特別講義	2	2	
		精神遅滞児教育概論	2	2	
		精神遅滞児教育指導法	2	2	
		精神遅滞児教育演習	2	1	
		精神遅滞児教育特別講義	4	2	
障害児心理	障害児心理	障害児心理学	2	2	} 1
		障害児心理学演習	2	1	
		精神遅滞児心理学	2	2	
		精神遅滞児心理学演習	2	1	
		精神遅滞児の心理診断実習	1	1	
		障害児心理学実験	2	1	
障害児病理	障害児の病理・保健	神経生理学	2	2	} 2
		精神遅滞児臨床	2	2	
		児童・青年精神医学	2	2	
		精神衛生学	2	2	
		障害児の病理・保健演習Ⅰ	2	1	
		障害児の病理・保健演習Ⅱ	2	1	
	障害児教育実習	精神遅滞児教育実習	4	2	} 4
	特設科目	肢体不自由児臨床	2	2	
		社会福祉概論	2	2	
		言語障害児療育	2	2	
		臨床心理学	2	2	
		児童心理学	2	2	
		教育評価	2	2	
		教育統計	2	2	
幼児心理学		2	2		
幼児教育概論		2	2		
幼児教育方法論		2	2		
教育社会学		2	2		
日本教育史		2	2		
西洋教育史		2	2		
救急処置・看護法	2	2			
	計	70	16	9	
			2	5	

別表Ⅷ中

精 薄 児 教 育 学 特 論	2			2	を
精 神 遅 滞 児 教 育 学 特 論	2			2	に、
精 薄 児 心 理 学 特 論	2			2	を
精 神 遅 滞 児 心 理 学 特 論	2			2	に改め、
○ 教 育 心 理 学 演 習	2			2	の次に
○ 発 達 心 理 学 特 別 講 義	2			2	を加え、
計	118	10	10	10	を
				30	
計	120	10	10	10	に改める。
				30	

附 則

- 1 この規則は、昭和60年10月1日から施行する。
- 2 昭和60年4月1日以前の専門教育課程移行者については、なお従前の例による。
- 3 昭和60年度以前の教育専攻科の入学生については、なお従前の例による。

▶富山大学教育学部規則の改正理由

授業科目を整理し、教育内容の充実を図るため所要事項を改める。

富山大学電気工作物保安規則の一部改正

富山大学電気工作物保安規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和60年9月26日

富山大学長 大井 信一

富山大学電気工作物保安規則の一部を改正する規則

富山大学電気工作物保安規則（昭和41年3月15日制 第1条中「富山大学（以下「本学」という。）」の次に「の自家用電気工作物施設（別表第1）」を加え

「第3項」を「第4項」に、「定める。」を「定めるものとする。」に改める。

第4条第2号を削り、同条第3号中「施設課の課長補佐をもって職務を代行させるものとする。」を「施設課長又は施設課課長補佐がその職務を代行する。」に改め、同号を同条第4号とし、同条第1号の次に次の2号を加える。

- (2) 施設課長は、主任技術者を監督する。
  - (3) 法令及びこの規則に基づく保安監督の職務を適確に遂行するため、主任技術者を置き、本学職員をもって充てる。
- 第4条第4号の次に次の1号を加える。
- (5) 学部、教養部、附属図書館及び経営短期大学部に主任技術者を助け電気工作物に係る保守業務に従事する者（以下「補助者」という。）を置き、事務長をもって充てる。

第5条に見出しとして「(保安業務の指揮命令系統)」を付し、同条中「並びに主任技術者及び電気工作物に係る保安業務に従事する者（以下「補助者」という。）」を削り、「別表第1」を「別表第2」に改める。

第7条第1項を削り、同条第2項中「主任技術者」

を「第4条第3号に定める主任技術者」に改め、同項を同条第1項とし、同条第3項を同条第2項とする。

第8条中「工事、維持又は運用」を「保安」に、「必要な技能」を「電気工作物の保安に関する必要な知識及び技能」に改める。

第9条第1項中「確保するため、」を「確保するために、電気工作物の」に改め、「管理者」の次に「及び施設課長」を加え、同条第2項中「主任技術者」の次に「及び施設課長」を加え、同条第3項中「主任技術者がこれを検査し、」を「主任技術者は、」に改める。

第10条中「別表第2」を「別表第3」に改める。

第12条第2項第2号中「受配電室、」の次に「変電室及び」を加える。

別表第2を別表第3とし、別表第1を次のように改め、同表を別表第2とする。

(次のようは、別紙1のとおり。)

別表第2の前に次の表を加える。

(次の表は、別紙2のとおり。)

**附 則**

この規則は、昭和60年10月1日から施行する。

別表第1

(別紙2)

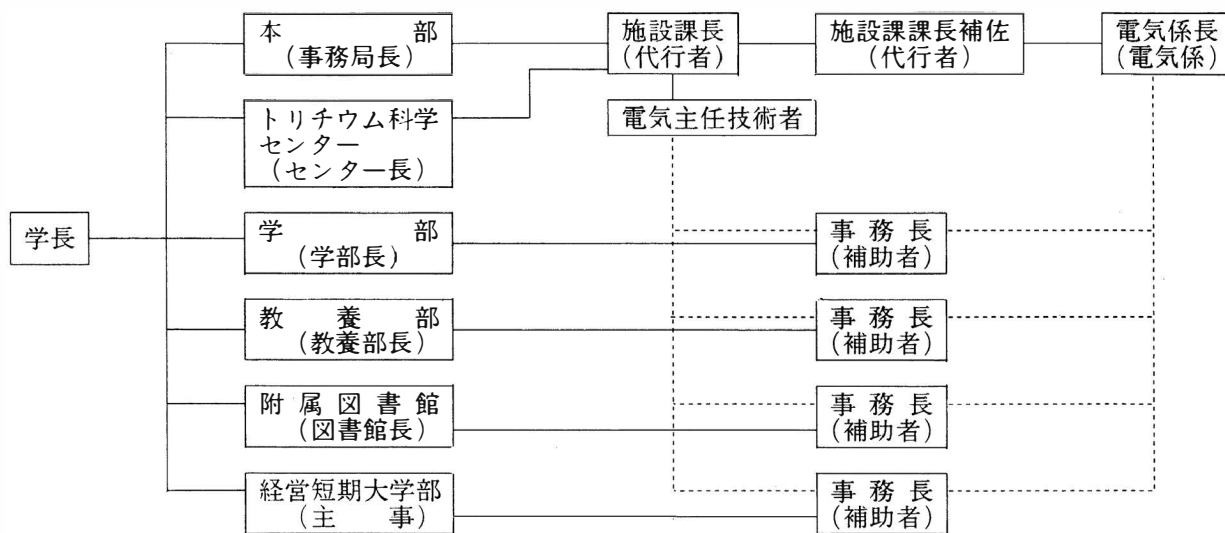
**自家用電気工作物施設**

団地名	所在地	施設名	受電電圧	最大需要電力
五福団地	富山市五福3190	本 人 文 学 部 教 育 学 部 経 済 学 部 理 学 部 工 学 部 教 養 部 附 属 図 書 館 トリチウム科学センター 経 営 短 期 大 学 部	6,600 V	別途電気需給 契約による
五艘団地	富山市五艘	附 属 小 学 校 附 属 中 学 校 附 属 養 護 学 校 附 属 幼 稚 園	6,600 V	〃
寺町団地	富山市寺町	学 生 寮	6,600 V	〃

(注) 本部とは、事務局、学生部、保健管理センター及び学内共同利用施設をいう。



保安業務の組織図



(注) ———は指揮命令系統を示す。  
 -----は関連業務の系統を示す。

保安業務の分掌

- 1 施設課長は、上司の命を受け、所属職員を指揮して、次の保安業務を処理する。
  - (1) 受電及び配電設備の運転作業
  - (2) 改修工事の手続
  - (3) 巡視、点検及び測定作業
  - (4) 工事の施行監督
  - (5) 図面及び書類の整理
  - (6) 事故管理
  - (7) 記 録
- 2 各部局等の長は、この規則に定めるもののほか、富山大学国有財産取扱規則及びその他学内規則の定めるところにより、当該部局等の保安業務を処理するものとする。

▶富山大学電気工作物保安規則の改正理由

- 1 電気事業法に基づき電気主任技術者免状を有する者を主任技術者として充てるため、所要事項を改める。
- 2 その他、字句を整理する。

富山大学附属図書館分館長選考基準を廃止する基準

富山大学附属図書館分館長選考基準を廃止する基準を次のとおり制定する。

昭和60年9月30日

富山大学長 大井 信 一

富山大学附属図書館分館長選考基準を廃止する基準

富山大学附属図書館分館長選考基準（昭和26年5月18日制定）は、廃止する。

▶富山大学附属図書館分館長選考基準を廃止する基準の制定理由

国立大学の附属図書館に置く分館を定める訓令（昭和39年文部省訓令）の一部改正に伴い、富山大学附属図書館工学部分館が廃止されるため。

附 則

この基準は、昭和60年10月1日から施行する。

---

**諸 会 議**

---

**昭和60年度第4回学園ニュース編集委員会**（9月2日）**（審議事項）**

(1)第49号学園ニュース編集について

**将来計画委員会と施設整備委員会の合同委員会**（9月5日）**（審議事項）**

(1)黒田講堂の整備について

**第49回構内交通対策委員会**（9月6日）**（審議事項）**

(1)10月以降のキャンパス内の交通規制について

**昭和60年度第2回大学院委員会**（9月13日）**（審議事項）**

(1)昭和61年度富山大学大学院理学研究科（修士課程）及び工学研究科（修士課程）入学試験合格者の判定について

(2)昭和61年度富山大学大学院工学研究科（修士課程）推薦入学者の選考について

**昭和60年度第5回入学試験管理委員会**（9月13日）**（報告事項）**

(1)昭和61年度富山大学入学試験問題作成委員について

**（審議事項）**(1)昭和61年度富山大学学生募集要項（案）について  
(2)昭和61年度富山大学入学試験電子計算機処理委員について**昭和60年度第4回部局長懇談会**（9月13日）**（懇談事項）**

(1)学術奨励基金募集について

**昭和60年度第3回授業料等減免選考委員会**（9月17日）**（報告事項）**

(1)昭和60年度入学料免除について

**（審議事項）**

(1)富山大学授業料免除選考基準について

**昭和60年度第3回補導協議会**（9月17日）**（報告事項）**

(1)補導協議会委員について

(2)文化部会3号及び6号委員について

(3)体育部会2号，3号及び5号委員について

(4)日本育英会奨学生の推薦について

**（審議事項）**

(1)文化部会1号委員（部会長）及び2号委員の選出について

(2)体育部会1号委員（部会長）の選出について

**昭和60年度第7回評議会**（9月20日）**（報告事項）**

(1)昭和61年度富山大学大学院理学研究科（修士課程）及び工学研究科（修士課程）入学試験合格者の判定について

(2)昭和61年度富山大学大学院工学研究科（修士課程）推薦入学者の選考について

(3)教官人事について（教養部）

(4)国際交流基金募金について

(5)学生の動向について

**（審議事項）**

(1)富山大学教育学部規則の一部改正（案）について

(2)昭和60年9月卒業者の認定について（人文学部）

(3)富山大学学長選考基準の見直しについて

(4)黒田講堂の整備について

**昭和60年度第1回保健管理センター委員会**（9月20日）**（審議事項）**

(1)工学部移転に伴う保健管理センター規則の一部改正について

**第1回体育部会**（9月24日）**（審議事項）**

(1)昭和60年度体育系サークルリーダー研修会について

**高等学校長協会と大学との懇談会（9月24日）****（懇談事項）**

- (1)昭和61年度富山大学入学試験について
- (2)高等学校長協会からの質疑要望事項について

**将来計画委員会と施設整備委員会の合同委員会（9月26日）****（審議事項）**

- (1)黒田講堂の整備について

**第3回富山大学情報処理センター運営委員会（9月26日）****（審議事項）**

- (1)利用負担金について
- (2)研究開発について
- (3)広報の発行について

**（報告事項）**

- (1)業務報告について
- (2)利用説明会・講習会等について
- (3)教育利用専門委員会及び授業担当者連絡会について
- (4)研究開発専門委員会について
- (5)広報・調査専門委員会について

**昭和60年度第4回学寮補導委員会（9月26日）****（審議事項）**

- (1)富山大学学寮規則の一部改正について

**昭和60年度第5回入学者選抜方法研究委員会専門委員会（9月26日）****（議 題）**

- (1)入学者選抜方法の改善に伴う昭和60年度以降（第5期分）の調査研究事項（テーマ）について

**昭和60年度第4回事務協議会（9月27日）****（議 題）**

- (1)富山大学電気工作物保安規則の一部改正（案）について

**第1回事務電算化委員会（9月27日）****（議 題）**

- (1)北陸地区国立学校事務電算化協議会昭和60年度第1回定例協議会について（報告）
- (2)授業料債権管理専門部会の設置について

**昭和60年度第3回入学者選抜方法研究委員会（9月27日）****（審議事項）**

- ((1)国立大学の受験機会の複数化に関するアンケートについて

◎ 構内での自動車等の運転は、教育・研究に支障を来さないよう安全運転に努め定められた交通方法、歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう！！





学 内 諸 報

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	経済学部	教授	増田 信彦	連合王国、ドイツ連邦共和国、オーストリア、イタリア、スイス、フランス、アメリカ合衆国	枯渇性資源の経済理論の研究のため	60. 9. 22 ) 61. 7. 21
	理学部	"	小林 貞作	コスタ・リカ メキシコ	コスタ・リカ国農業開発協力基礎一次調査のため	60. 9. 4 ) 60. 9. 20
	"	"	高木光司郎	中華人民共和国	遼寧大学との学术交流及び中国でのレーザー研究の視察のため	60. 9. 23 ) 60. 11. 15
	"	助手	飯田 敏	アメリカ合衆国	X線及び中性子線回折による物性研究のため	60. 9. 30 ) 61. 7. 29
	工学部	教授	大岡 耕之	中華人民共和国	鉄鋼材料学に関する研究と指導のため	60. 9. 15 ) 60. 9. 29
	教養部	助教授	気賀澤保規	"	隋唐時代における国家と社会に関する研究のため	60. 9. 16 ) 61. 8. 24

昭和60年度全国公務員レクリエーション  
共同行事富山地区ソフトボール大会

昭和60年度全国公務員レクリエーション共同行事富山地区ソフトボール大会が、去る9月10日(火)県営軟式球場において開催されました。今大会には12事業所から15チームの参加があり、本学からはA、B、Cの3チームが参加しました。

Aチームは、決勝戦で富山刑務所チームに敗れ惜し

くも2位になりました。

なお、成績は次のとおりです。

- 優 勝 富山刑務所チーム
- 次 勝 富山大学Aチーム
- 3 位 富山大学Bチーム
- " 富山医科薬科大学Bチーム

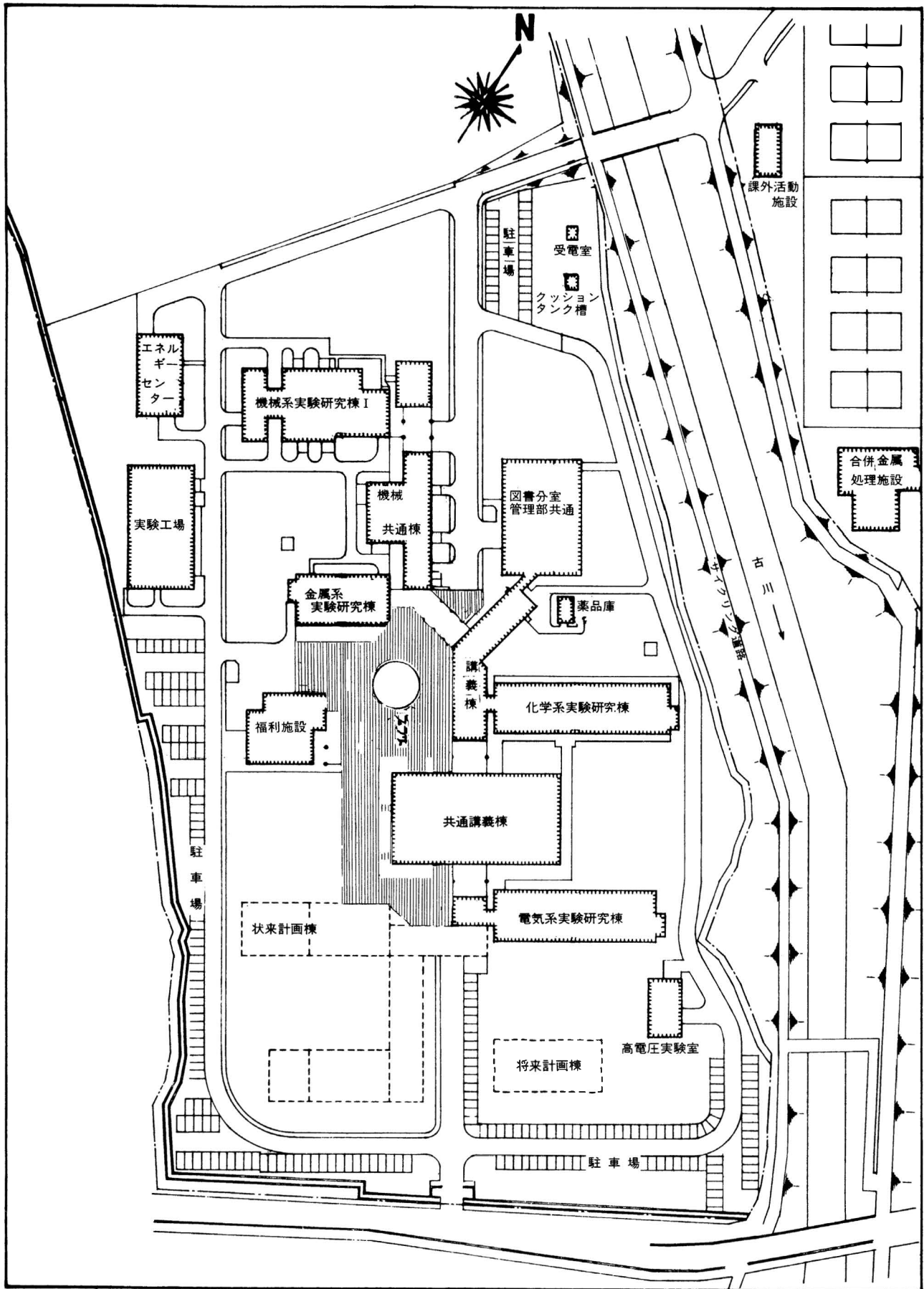
工学部の移転について

昨年に続いて、第2期の移転作業を昭和60年8月2日から実施していたが、9月30日をもって完了した。

第2期には、電気工学科、工業化学科、化学工学科

及び事務部が移転を行い、これにより工学部の五福地区への統合移転が全て完了した。

工学部建物・施設配置図



## 寄 稿

## 〈ボルダーから見たアメリカ大陸の歴史〉

理学部助教授 川崎 一 朗

豊かな山岳地帯の中に、オーレイ、デュランゴ、ヴェイル等のヨーロッパ的雰囲気を作り物にした高級避暑地が散らばっている。

ボルダーで毎日フラッグスタッフを見ながら過しているうちに、ある日、この山塊にアメリカ大陸の悠久な歴史が込められていることに気がついた。フラッグ山塊は、近づいてよく見ると、大きく言って2枚の巨大な板状岩体が東へ向って平行に $30^{\circ} \sim 40^{\circ}$ の角度

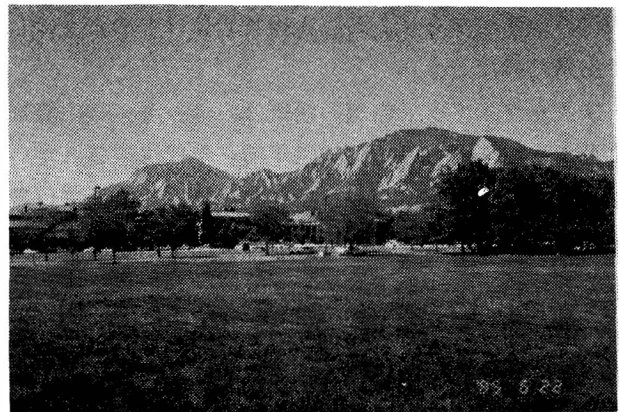
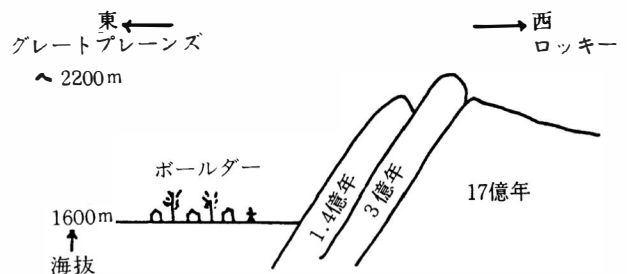
私が家族を伴ってコロラド州ボルダーに着いたのは、1984年9月25日の夜であった。次の朝、私たちのために用意されていた大学宿舎の窓から西方を眺めると、フラッグスタッフの奇観（写真参照）が私の眼に飛び込んできた。大きく言って、東に向って $30^{\circ} \sim 40^{\circ}$ で傾く赤っぽい巨大な2枚の板状岩石層から成る比高 $\sim 500\text{m}$ のフラッグスタッフ山塊の奇観は、ボルダーのシンボルの一つだ。紅葉に彩どられて美しく、雪が降って美しく、春になって花が一斉に咲き乱れてなお美しかったボルダーの街並の背後には、いつもフラッグスタッフ山塊の借景があった。

ボルダーから東を眺めると、グレートプレーンズが、アメリカ大陸東海岸のアパラチア山脈に突き当たるまで約 $3,000\text{km}$ 、延々と広がっている。緩やかな起伏のまま、視界の遙か彼方に消えて行くグレートプレーンズを見ていると、ここが海拔約 $1,600\text{m}$ の高度があるとはとても信じられない気持ちになる。

コロラド州は、アメリカ合衆国のど真中よりやや西寄りにあり、北側をワイオミング、西をユタ、南をニューメキシコ、東をカンザスの諸州に取り囲まれている。地図を見ると、コロラドの州境は長方形で、このような州境を持つ州は、アメリカ広しと言えども他にワイオミングしかない。コロラド州の面積は日本全体のほぼ70%、人口は300万。この300万のほとんどが、人口100万の中西部最大の町デンバーと、コロラド州の経済を支える東側3分の1のグレートプレーンズに属する平原部に集中している。集中していると言っても、中部地方全体と同じ位の広さの所に、デンバーの100万を入れても200万を少し上廻る程度の人口が住んでいるだけである。車でこの平原部を走れば、行けども行けども半砂漠の牧草場が続き、所々に小さな美しい田舎町が散在しているにすぎない。

州中央部から西側、州の60%はロッキーの山岳地帯が占める。海拔 $1,600\text{m}$ 前後の州東部の平原部は、その全んどが半砂漠だが、山岳地帯は、海拔が $2,000\text{m}$ を超える辺りから突如緑が豊かになる。私の日本の感覚とはまったく逆なこの現象の謎はすぐに解けた。この辺りでは、海拔 $2,000\text{m}$ 以下のところでは、普通の植物は、夏季の暑さと乾燥に耐えられないのだ。緑

別図



で傾いていることに気づく。図式的に書くと別図のようになる。2枚の巨大板状岩体のうち、上側のものが新しく、約1億4千万年前に、低温湿地に堆積して出来た木目の細かい堅い赤色砂岩である。この砂岩の赤い色は酸化鉄による。1億4千万年前に、低温湿地に水平に堆積したものが、今はこうして、海拔 $2,000\text{m}$ の高地に、 $30^{\circ} \sim 40^{\circ}$ で東に傾いて聳え立っている。ボルダーでは出ないが、ここから20マイル程南方、アメリカ大陸横断ハイウェイ、インターステート70がデンバーを抜けてロッキーにぶち当たる所、レッドロックパークでは、同じ地層から恐竜の化石が発見されている。約1億4千万年前には、コロラドでは恐竜がうようよし

ていたのだ。

ボールダーを含め、ロッキー山塊東縁部に多量に産するこの赤色砂岩はボールダーと呼ばれており、ボールダーの地名はここから来たらしい。コロラド大学の美しいキャンパスの全んどは赤いレンガ作りだが、これは、ロッキー山中から切り出されて来た、フラッグスタッフと同じ赤色砂岩である。

このような赤色で木目の細かい砂岩がアメリカ中西部に大量に分布していることから、約1億4千万年前に、アメリカ中西部全体に大規模な地殻変動があったことがわかる。何があったのであろうか。それは、大西洋が開き始めたのだ。約1億4千万年前まで、南北アメリカ大陸は、ヨーロッパ、アフリカと共に、一つの超巨大大陸パンゲアを形成していた。約1億4千万年前、パンゲアは突如分裂し、大西洋が開き始め、南北アメリカ大陸は、ヨーロッパ、アフリカと分れて西へ移動しはじめた。その影響はアメリカ中西部に及び、コロラド近辺は大きく沈下を始め、低地湿地から浅い海へと変化した。

2枚の平行な巨大板状岩体のうち下側のものは、約3億年前、石炭紀の、やはり木目細かく堅い赤色砂岩である。この赤色砂岩からは古い両棲類(カエルなど)の化石が産出する。この巨大板状岩体はどのようにして出来たのだろうか。

フラッグスタッフ山塊の西側は、ロッキーの山陵部に至るまで、主として、17億年前と年代決定されている花崗岩から成っており、その中に、比較的若い貫入花崗岩体が散見される。これらの諸事実を併せ考えると、次のように推定できる。コロラド近辺は(そして、多分北アメリカ大陸全体が)、17億年前から3億年前まで、低い陸地か浅い海の比較的定かな時代が続いたが、3億年前に突然隆起し、古代ロッキーが生じた。古代ロッキーから流れ出した土砂がコロラド近辺に厚く堆積し、それが、今日我々の見る2枚の巨大板状岩体のうち下側のものになって残った。

3億年前に古代ロッキーを産み出した巨大な地殻変動の原因は何だったのだろうか。3億年以前は、北アメリカとユーラシアは一つの巨大大陸ローレンシアを形成しており、一方、南アメリカとアフリカ、南極、インド、オーストラリアは巨大大陸 Gondwana を作っていた。約3億年前、南北に分れていた2つの巨大大陸ローレンシアと Gondwana は衝突し、1つの超巨大大陸パンゲアを形成した。その巨大大陸の衝突の痕跡がアメリカ東部のアパラチア山脈で、衝突の余波で古代ロ

ッキーが隆起した。

さて、このようにして、私が一年間毎日見つけたフラッグスタッフの2枚の巨大板状岩体誕生の秘密が解けた。では逆に、それらを軸に、コロラド近辺と北アメリカ大陸の歴史を年代順に辿ってみよう。

地球の年齢は約45億年、地上で発見された一番古い岩の年齢は約38億年で、グリーンランド西海岸から出る。コロラド近辺において、ロッキー東縁部の花崗岩は17億年と年代決定されているが、地球の誕生から17億年前まで、このあたり一帯で何があったかは明らかでない。いづれにせよ、17億年前から3億年前まで、コロラド近辺とアメリカ中西部は、低地陸地か浅い海の比較的平穏な時代が長く続いたと思われる。約3億年前、南北に分れていたローレンシアと Gondwana の両大陸が激しく衝突し、超巨大大陸パンゲアを作った。その時、古代ロッキーが隆起し、その東方にロッキーから流出した土砂によって厚い堆積層を作り、その中に、当時コロラドを徘徊していた古代両棲類を封じ込め、化石を残した。これが現在のフラッグスタッフ山塊の巨大な2枚の板状岩盤のうち下方のものとして残る。その後、コロラドを含むアメリカ中西部は、ゆるやかな隆起沈降によって、砂漠になったり低湿地になったりを繰り返した。

約1億4千万年前、突如パンゲアは東西に分離し始め、大西洋が拡大し、南北アメリカ大陸はユーラシアとアフリカから離れて西方への移動を始めた。アメリカ中西部は急速に沈降して浅い海になり、その上に厚い堆積層を形成し、当時のコロラドを闊歩した恐竜の化石がこの中に残った。フラッグスタッフ山塊の2枚の巨大な板状岩体のうち上盤側のものがその堆積層である。ただし、これらの堆積層岩体は、堆積した当時は水平であったことに注意。

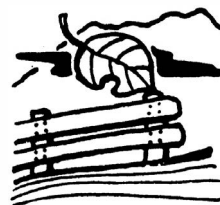
約6千万年前、恐竜が減んだ後、アメリカ大陸西部で急激な造山運動が起り、現代のロッキーが隆起し始めた。この隆起は5千~3千万年前に最高潮に達し、コロラドの鉱床の多くはこの頃に生じた。デンバー西方ゴールデンのテーブルマウンテンは、この頃に吹き出した熔岩が水平に溜り、それが、その後の差別浸食によってテーブル状に残ったものである。この激しいロッキーの隆起に伴ない、ロッキー東縁の堆積岩層は東へ傾きながら隆起し、フラッグスタッフの山々を形作った。

以上が、極端に簡単化したアメリカ中西部とコロラド州の歴史である。日本で最も古い岩石は、岐阜県



の福地で見つかったもので約5億年である。日本のほとんどの部分は3億年より新しい。日本列島の歴史はアメリカ大陸程の空間的スケールも小さく、時間的にも短かいが、今どんどん再現されつつある。このような研究に富山大学理学部地球科学教室が大いに貢献していることを記してこの稿を終ろう。

▶筆者は、文部省長期在外研究員（乙種）として、昭和59年9月25日から昭和60年8月19日まで11か月間地球内部大規模異方性の研究のため、アメリカ合衆国へ外国出張されましたので、特に寄稿を御依頼したものです。



## 職員消息

### 《改 姓》

#### 経営短期大学部

事務補佐員 田畠 麗子  
(旧姓 三井)

### 《住所変更》

#### 経 理 部

文部事務官 伏喜 俊至

### 《新任者》

#### 庶 務 部

文書係長 野尻 津喜夫

#### 人文学部・理学部

文部事務官 笹岡 博史

#### 人文学部

助 教 授 宇野 隆夫  
(考古学)

#### 教育学部

助 教 授 村上 宣寛

#### 教 養 部

教務補佐員 岩田 哲也  
(環境科学)  
(自然系)

文部事務官 稲垣 克己

#### 経営短期大学部

総務係長 岡田 東彦<sup>はる</sup>

#### 経済学部

教 授 小松 和生

附属図書館

事務補佐員 中村 喜久美

事務補佐官 田島 麗子

経営短期大学部

助 教 授 芳賀 健一

《住所表示変更》

教 養 部

教 授 観山 雪陽

主 要 行 事

本 部

- 9月2日 第4回学園ニュース編集委員会
- 3日 第3回会計係長会議
- 5日 将来計画委員会と施設整備委員会の合同委員会
- 6日 第49回構内交通対策委員会
- 7～8日 学生部・保健管理センターレクリエーション（於 山中温泉）
- 9～13日 第22回東海・北陸地区国立学校等会計事務職員研修（於 浜松医科大学）
- 10～11日 第6回全国国立大学学生部長協議会（於 石川厚生年金会館〈金沢大学〉）
- 12日 国大協第6常置委員会（於 国立大学協会）  
共通第1次学力試験に関する地区別情報処理連絡協議会（於 神戸大学）
- 13日 第2回大学院委員会  
第4回部局長懇談会  
第5回入学試験管理委員会
- 17日 第3回補導協議会  
第3回授業料等減免選考委員会
- 18日 公開講座「21世紀に向かって教育を考える」  
開講（10月11日まで）
- 20日 第7回評議会
- 24日 第1回体育部会  
高等学校長協会と大学との懇談会

- 26日 将来計画委員会と施設整備委員会の合同委員会  
富山消防署査察  
情報処理センター運営委員会  
第5回入学者選抜方法研究委員会専門委員会
- 第4回学寮補導委員会
- 26～27日 第21回41国立大学経理部長会議（於 宮崎大学）
- 27日 部課長会議  
第4回事務協議会  
第1回事務電算化委員会  
第3回入学者選抜方法研究委員会
- 28～29日 経理部レクリエーション（於 山代温泉）  
施設課レクリエーション（於 山中温泉）

人 文 学 部

- 9月2日 授業開始
- 4日 後学期時間割担当者会議  
コース代表者会議  
特定研究打合せ会
- 6日 大学院設置推進委員会
- 11日 教授会  
特定研究打合せ会
- 14日 前学期授業終了

- 14～15日 真率会レクリエーション（於 片山津温泉）  
 18日 図書目録作製打合せ会  
 特定研究打合せ会  
 20日 人文・理事務連絡会  
 24日 図書目録作製打合せ会  
 25日 教授会  
 人事教授会  
 26日 富山消防署査察

### 教 育 学 部

- 9月2日 人事教授会  
 附属幼稚園，附属養護学校第2学期始業式  
 2～3日 教員養成実地指導（事前指導）  
 4日 教育学部教育実習運営協議会（中学校関係）  
 5日 入学者選抜方法検討委員会  
 教育実習（10月18日まで）  
 11日 入学者選抜方法検討委員会  
 18日 学部教務補導合同委員会  
 学部補導委員会  
 学部教務委員会  
 教授会  
 18～20日 全国国立大学附属学校連盟北信越地区校  
 園長会，副校園長会及び北信越地区協議会  
 （於 福井市）  
 25～26日 国立大学教育工学センター協議会及び研  
 究会（於 奈良教育大学）  
 26日 富山消防署査察

### 経 済 学 部

- 9月4日 各種委員選考委員会  
 7日 前学期授業終了  
 9月 助手室業務運営委員会  
 10日 学部教務委員会  
 学部将来構想検討委員会  
 11日 人事教授会  
 教授会  
 18日 日本海経済研究所運営委員会  
 学部教務委員会  
 19日 学部補導委員会  
 25日 学部教務委員会

- 人事教授会  
 教授会  
 26日 富山消防署査察

### 理 学 部

- 9月2日 授業開始  
 6日 大学院理学研究科入学者選抜調査書審査  
 9～10日 大学院理学研究科入学試験  
 11日 理学研究科委員会  
 人事教授会  
 13日 入試改善委員会  
 14日 前学期授業終了  
 14～15日 真率会レクリエーション（於 片山津温泉）  
 17日 大学院理学研究科合格者発表  
 18日 教授会  
 26日 富山消防署査察  
 10月  
 29～3日 日本数学会秋季総合分科会

### 工 学 部

- 9月  
 3～4日 大学院工学研究科入学試験  
 10日 入学試験検討委員会  
 学部教務委員会  
 11日 教授会  
 工学研究科委員会  
 専任教授会  
 13日 大学院工学研究科合格者発表  
 18日 選考委員会  
 20日 学部構内交通対策委員会  
 26日 富山消防署査察  
 30日 学部図書委員会

### 教 養 部

- 9月4日 紀要委員会  
 10日 補導委員会  
 11日 教務委員会  
 教授会

人事教授会

- 17～30日 前学期末試験
- 25日 補導委員会
- 26日 富山消防署査察

**附属図書館**

- 9月4日 係長事務打合せ
- 18日 工学部分館の第2期移転作業終了
- 19日 係長事務打合せ
- 24日 電算化ワーキンググループ打合せ
- 25日 電算化ワーキンググループと富士通S Eとの打合せ
- 26日 富山消防署査察

**トリチウム科学センター**

- 9月26日 富山消防署査察

**保健管理センター**

- 9月
- 7～8日 学生部・保健管理センターレクリエーション（於 山中温泉）
- 20日 第1回保健管理センター委員会
- 26日 富山消防署査察

**経営短期大学部**

- 9月12日 財務委員会  
教授会
- 14日 前学期授業終了
- 17～24日 前学期末試験
- 26日 富山消防署査察



**—職員会館の宿泊の御案内—**

- ◎利用日……土・日曜日及び祝日も利用できます!!
- ◎申し込み……利用日の2日前までに!!
- ◎門限時刻……午後10時 ……御協力を……!!

編集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 中央印刷株式会社  
富山市下奥井1-4-5  
電話 32-6572代